I prefer to see with closed eyes

in conversation with Josef Albers



ホセ・ダヴィラ

私は目を閉じて見るほうがいい — ジョゼフ・アルバースとの対話 $3/1_{\text{SAT}} \leq 4/6_{\text{SUN}}$

I prefer to see with closed eyes

in conversation with Josef Albers



メキシコ、グアダラハラを拠点に活動するアーティスト、ホセ・ダヴィラ (1974-) は、金属やガラス、玉石などの身近な素材を絶妙な均衡で組み合わせる立体作品や、20世紀のアーティストや建築家の作品を引用、考察した作品で知られています。

ダヴィラは2010年代から、抽象美術を代表するアーティストのひとりであるジョゼフ・アルバース(1888-1976)のシリーズ「正方形讃歌」を題材とした作品を繰り返し制作しています。アルバースが正方形を重ねることで絵画の画面上で配色実験を繰り広げたのに対して、ダヴィラは金属やセラミック(陶板)などを用いて、時間や光によって変化する立体作品に発展させています。

ダヴィラにとって日本の美術館における初の本格的な展覧会となる本展では、ダヴィラの作品と、アルバースの「正方形讃歌」シリーズの作品を合わせて展示し、時代を超えて人々を惹きつけるアルバースの形と色彩に対する探求、そして、美術史と対話することで新たな芸術を生み出すダヴィラの挑戦をご覧いただきます。

「私は目を閉じて見るほうがいい」というタイトルは、アルバースがインタビューに答え、「私にとって、抽象は現実だ。たぶん自然より現実だ。・・・抽象は私の心の近くにある。 私は目を閉じて見るほうがいい。」*と語った言葉から取られています。

本展は、ダヴィラ自身が会場デザインを手がけ、展示そのものがアルバースへのオマージュとなっています。また、建築家磯崎新(1931-2022)が立方体をモチーフにデザインした建築空間とも共鳴することでしょう。アーティストたちの時を超えた出会いをご堪能ください。

*キャサリン・キュー『アーティストの声: 17人のアーティストとの会話』1962年 (ニューヨーク) より

Based in Guadalajara, Mexico, Jose Dávila (1974-) is known for his three-dimensional works that combine familiar materials such as metal, glass, and boulders in a delicate equilibrium, as well as works that quote and reflect on the work of 20th century artists and architects.

Since the 2010s, Dávila has repeatedly drawn on the series *Homage to the Square* by Josef Albers (1888-1976), one of the most important abstract artists. While Albers experimented with color schemes in his paintings by layering squares, Dávila develops these squares using materials such as stainless steel, glass, and ceramic to create three-dimensional works that change its forms and colors with time and light.

This exhibition, Dávila's first full-scale exhibition in a Japanese museum, will feature a painting and prints from Albers' *Homage to the Square*, alongside works by Dávila based on this series. The exhibition will show Albers' exploration of form and color, which has fascinated people throughout the ages as well as Davila's challenge to create new art through conversation with the art history.

The exhibition title is a reference to Albers' words in an interview in which he said, "For me, abstraction is real. Maybe more real than nature. ... Abstraction is close to my heart. I prefer to see with closed eyes." *.

Dávila himself designed this exhibition, which is itself a tribute to Albers. It will also resonate with the architectural space designed by Arata Isozaki (1931-2022) using the cubic element as a motif. We hope you will enjoy this timeless encounter between artists.

*Katharine Kuh, Artist's Voice: Talk with Seventeen Artists, Harper&Row,1962.



ホセ・ダヴィラ 《Homage to the Square》 2024年 ステンレススティール、自動車用塗料、ワイヤー 180×180×180cm 作家蔵 Courtesy of the artist. Photo by Agustín Arce.



1974年、メキシコ、グアダラハラ生まれ。Instituo Tecnológico y de Estudios Superiores de Occidente (ITESO) で建築を学んだ後に独学で美術を学び、彫刻、インスタレーション、絵画、写真などの作品を制作している。チューリッヒ現代美術館(スイス)、ダラス・コンテンポラリー(テキサス)、JUMEX美術館(メキシコシティ)をはじめとする各国の美術館で60以上の個展を開催したほか、多数の国際展やグループ展に参加している。作品はアンパロ博物館(プエブラ、メキシコ)、国立ソフィア王妃芸術センター(マドリード、スペイン)、ソロモン・R.グッゲンハイム美術館(ニューヨーク)、ポンピドゥー・センター(パリ)、ハンブルグ・クンストハレ(ハンブルグ)、タグチアートコレクション(日本)など数多くの機関に収蔵されている。

Born in 1974, Guadalajara, Mexico. Following a degree in architecture obtained from Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Occidente (ITESO), Dávila became a self-taught artist whose practice spans sculpture, installation, painting, and photography. More than 60 solo shows have been held at major museums such as Museum Haus Konstruktiv (Zurich, Switzerland), Dallas Contemporary (Texas), JUMEX Museum (Mexico City), and his work has been shown on many international art events. His work has become part of prominent institutions and private collections such as of Museo Amparo (Puebla, Mexico), Museo Nacional Centro de Arte Reina Sofia (Madrid, Spain), Solomon R. Guggenheim Museum (New York), Centre Pompidou (Paris), Hamburger Kunsthalle (Hamburg), Taguchi Art Collection (Japan).

슺

I prefer to see with closed eyes — in conversation with Josef Albers

開催概要 **Event overview**

展覧会名 ホセ・ダヴィラ

私は目を閉じて見るほうがいい ―ジョゼフ・アルバースとの対話

Jose Dávila

I prefer to see with closed eyes

-in conversation with Josef Albers

場 群馬県立近代美術館 2F 展示室 5 会

開館時間 午前9時30分 - 午後5時(入館は午後4時30分まで)

2025年 3月1日(土) — 4月6日(日)

休 館 日 毎週月曜日

期

観 覧 料 一般300円(240円)、大高生150円(120円)

*()内は20名以上の団体割引料金

*中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

催 主 群馬県立近代美術館

アートオフィス シオバラ 企画協力

替 アエロメヒコ

AEROMEXICO. 輸送協力 アエロメヒコカーゴ

カ DIC川村記念美術館

タグチアートコレクション

nca | nichido contemporary art



ホセ・ダヴィラ 《Homage to the Square》 2019年 手でカットした陶板、金属の棚 50×50×7.5cm 作家蔵 Courtesy of the artist. Photo by Agustín Arce.



■ 学芸員による作品解説会 *申込不要、要観覧料 3月9日(日)、3月23日(日) 午後2時-2時40分 会場:展示室5



- 美術館アートまつり *申込不要、参加無料 3月9日(日)午前10時-12時 午後1時-3時 簡単な工作や鑑賞体験など多彩なプログラムを楽しめます。
- 友の会講演会「この人に聞きたい16」 *申込不要、参加無料 3月15日(土) 午後2時-3時30分

「地域と美術について(仮)」

講師:南條史生氏

(美術評論家・キュレーター、アーツ前橋特別館長)

会場:2F講堂



「Vida la vida」展会場写真(2024年、まえばしガレリア、前橋市) Photo courtesy of Maebashi Galleria.

展覧会関連イベント情報については、随時当館HPにてご確認ください。 https://mmag.pref.gunma.jp/

Jose Dávila I prefer to see with closed eyes — in conversation with Josef Albers















5

I prefer to see with closed eyes — in conversation with Josef Albers

広報用画像・読者プレゼント用招待券申込書 群馬県立近代美術館 広報担当 石原 TEL: 027-346-5560

FAX:027-346-4064 E-MAIL:bijutsu@pref.gunma.lg.jp

『ホセ・ダヴィラ 私は目を閉じて見るほうがいい - ジョゼフ・アルバースとの対話』の広報用画像 $1\sim6$ を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、上記FAX番号またはEXールにてお申し込みください。

貴社名:			ご担当者名:
貴媒体名:			E-MAIL:
TEL:			FAX:
掲載予定日:			読者用招待券:□ 希望する(5組10枚) □ 希望しない
招待券送付先:			
ご希望の画像番号のチェック欄に ✓ 印をお付けください。			
チェック 欄	画像番号	キャプション・クレジット	
	1	ホセ・ダヴィラ《Homage to the Square》2024年 ステンレススティール、自動車用塗料、ワイヤー 90×90×90cm 作家蔵 Courtesy of the artist. Photo by Agustín Arce.	
	2	ホセ・ダヴィラ《Homage to the Square》2024年 ステンレススティール、自動車用塗料、ワイヤー 180×180×180cm 作家蔵 Courtesy of the artist. Photo by Agustín Arce.	
	3	ホセ・ダヴィラ《Homage to the Square》2024年 ステンレススティール、自動車用塗料、ワイヤー 180×180×180cm 作家蔵 Courtesy of the artist. Photo by Agustín Arce.	
	4	ホセ・ダヴィラ《Homage to the Square》2024年 ステンレススティール、自動車用塗料、ワイヤー 180×180×180cm 作家蔵 Courtesy of the artist. Photo by Agustín Arce.	
	5	ホセ・ ダヴィラ《Homage to the Square》2019年 手でカットした陶板、金属の棚 50×50×7.5cm 作家蔵 Courtesy of the artist. Photo by Agustín Arce.	
	6	「Vida la vida」展会場写真(2024年、まえばしガレリア、前橋市) Photo courtesy of Maebashi Galleria.	

広報用画像の使用に関するお願いとご注意

この度は、『ホセ・ダヴィラ 私は目を閉じて見るほうがいい — ジョゼフ・アルバースとの対話』をご紹介いただき、誠にありがとうございます。貴媒体にて本展の作品画像を使用される場合、下記の規定に基づいてご使用をお願い申し上げます。

- 1) 作品は全図で使用してください。トリミング、文字のせ等はお控えください。
- 2) ご使用の際は、必ずキャプション・クレジットを記載ください。
- 3)作品画像のご使用は本展の告知を目的とした記事・番組に限ります。また、本展終了後の掲載、放送などは原則としてご遠慮ください。
- 4) デジタル画像は全てJPG画像で、メール送信いたします。
- 5) ご掲載紙・誌を1部ご寄贈いただけますようお願いいたします。